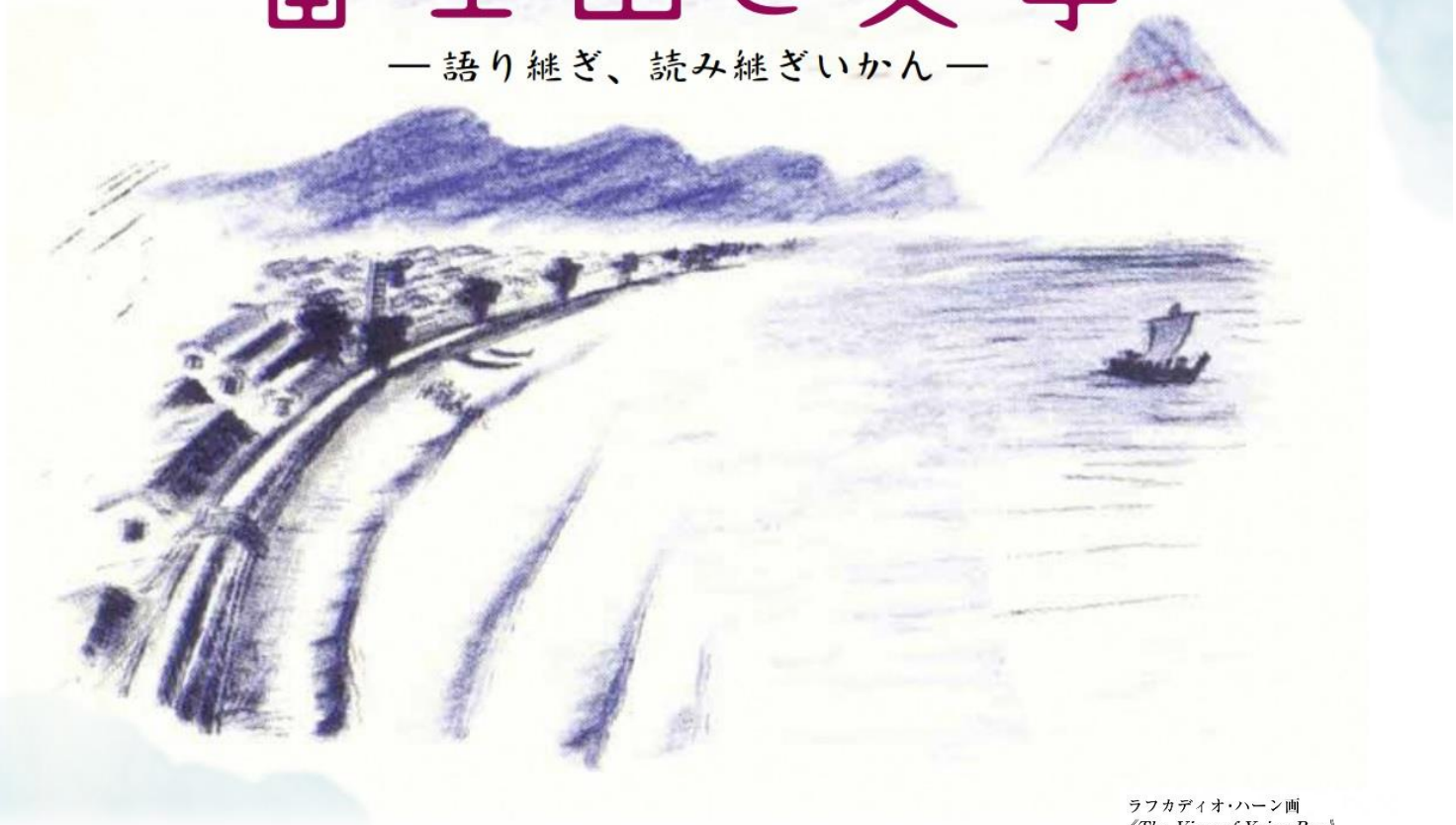


富士山と文学

—語り継ぎ、読み継ぎいかん—



ラフカディオ・ハーン画
《The View of Yaizu Bay》
(*Re-Echo*より。焼津小泉八雲記念館蔵)



奈良絵本『伊勢物語』
(京都大学附属図書館蔵) 部分



【東海道名所図会】
(静岡県富士山世界遺産センター蔵) 部分

講演① 「平安文学の富士山」

講師：高野 晴代 (日本女子大学名誉教授)

講演② 「江戸時代の人びとが表現した富士山」

講師：田代 一葉 (静岡県富士山世界遺産センター准教授)

講演③ 「ラフカディオ・ハーンと富士山：プレー山から富士山まで」

講師：梅本 順子 (日本大学国際関係学部特任教授)

日時

令和3年

11月23日(火・祝)

13:30~16:00(開場 13:00)

受講料無料

定員 60名(事前申し込み制・先着順)

会場

焼津公民館大集会室

(焼津市本町5-6-1 市役所アトレ庁舎3階)

アクセス

JR 焼津(南口) 駅前から、しずてつジャストライン
2番乗り場「一色和田浜線(一色まわり)」または
3番乗り場「一色和田浜線(和田浜まわり)」乗車、
「浅草幸町」バス停で下車、徒歩5分。

※公共交通機関を御利用ください。



申込期間：令和3年10月28日(木) から令和3年11月10日(水) まで(定員に達し次第、申し込みを締め切ります。)

申込方法：電話、FAX、またはメールにて「氏名、住所、電話番号」を静岡県富士山世界遺産センターまで
ご連絡ください。

(電話：0544-21-3776 FAX：0544-23-6800 Mail：mtfujj-whc@pref.shizuoka.lg.jp)

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止または内容を変更する場合がございます。
最新の情報を静岡県富士山世界遺産センターホームページ (<https://mtfujj-whc.jp/>) で
ご確認ください。



富士山と文学

— 語り継ぎ、読み継ぎいかん —

富士山の文学の中であまりにも有名な歌に、山部赤人が詠んだ、

田子の浦ゆ打ちいでてみれば真白にそ富士の高嶺に雪は降りける（『万葉集』巻3）があります。

実はこの歌が「天地の 分かれし時ゆ 神さびて」で始まり、「語り継ぎ 言い継ぎ行かむ 富士の高嶺は」で終わる長歌とあわせて詠まれたものであることは案外知られていないように思われます。

富士山を「語り継ぎ 言い継ぎ」いでいこうという精神は、秀麗な、あるいは崇高な富士の姿に心打たれた感動を、誰かに伝えたいと思う文学者に共通するものであり、世界遺産としての富士山に関わる静岡県富士山世界遺産センターの使命とも、また富士山に関心を抱く万人の心とも通じるものがあるでしょう。

今回のセミナーでは、1,300年以上にわたってさまざまに記されてきた富士山文学の豊かな実りの中から、平安時代に著された『伊勢物語』東下りに見られる富士山を初めて見た都人の驚きと感動の表現や、富士山を詠んだ和歌の数々、江戸時代の旅行ブームの中で出版された書物や詩人が表現した富士山の姿などを紹介します。また、焼津ゆかりの文学者ラフカディオ・ハーンは西インド諸島のプレー山を富士山に例えましたが、その両山の登山体験に基づく作品の比較など、各専門家がわかりやすく解説いたします。

このセミナーが来場者の皆様により多くの富士山文学にふれるきっ

タイムテーブル

講師紹介（講演順・敬称略）

高野 晴代（たかの・はるよ）

星美学園短期大学教授、日本女子大学文学部教授を経て、現在、日本女子大学名誉教授。文学修士。専門は、平安文学、特に和歌を専門とし、物語・日記などの和歌の役割と解釈、贈答歌、屏風歌など。

主要な著書・論文に、『源氏物語の和歌』（コレクション日本歌人選、笠間書院、2011年）、「『更級日記』の「上洛記」-『伊勢物語』東下りとの比較を通して-」（『更級日記の新世界』武蔵野書院、2016年）などがある。

田代 一葉（たしろ・かづは）

日本学術振興会特別研究員、日本女子大学非常勤講師などを経て、現在静岡県富士山世界遺産センター准教授。博士（文学）。専門は、江戸期の和歌を主とした古典文学、富士山に関する文学。

主要な著書・論文に、『近世和歌画賛の研究』（汲古書院、2013年）、「薩埵峠から富士山を望む」（鈴木健一編『東海道五十三次をよむ』三弥井書店、2020年）などがある。

梅本 順子（うめもと・じゅんこ）

日本大学国際関係学部教授を経て、現在、日本大学国際関係学部特任教授。博士（国際関係）。専門は、比較文化・文学。

主要な著書・論文に、『浦島コンプレックス ラフカディオ・ハーンの交友と文学』（南雲堂、2000年）、『未完のハーン伝 テューニソン関係書簡を中心に』（大空社、2002年）、『青に魅せられて ラフカディオ・ハーンとその信奉者たち』（静岡新聞社、2021年）などがある。